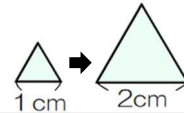




次の問いに答えましょう。



- ① 正三角形の1辺の長さを、1 cm、2 cm、3 cm、…と変えたときのまわりの長さを調べ、右の表にまとめました。

1辺の長さ (□cm)	1	2	3	4
まわりの長さ (△cm)	3	6	9	12

- ② 1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとして、□と△の関係を正しく表している式を、次のア～エから1つえらび、記号に○をつけましょう。

ア $\Delta \div 3 = \square$ イ $\square + 3 = \Delta$ ウ $\Delta \times 3 = \square$ エ $\square \times 3 = \Delta$

- ③ まわりの長さを99 cmにするためには、1辺の長さを何 cm にすればよいか答えましょう。

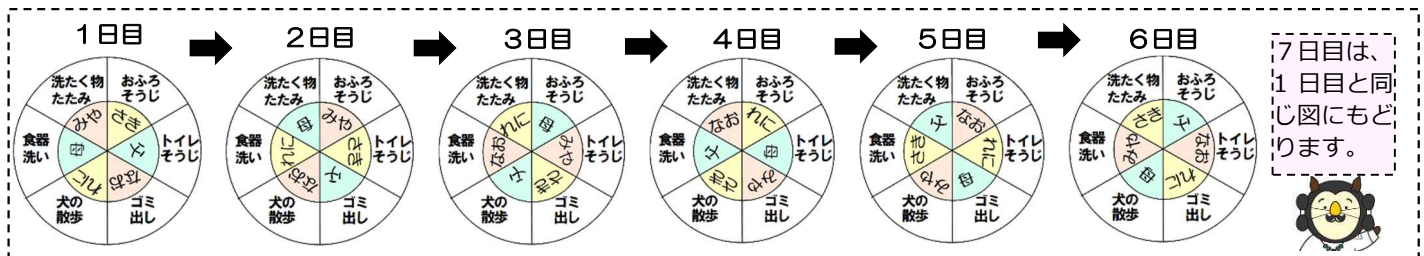
() cm



問題

さきさんの家では、家族で協力し、家事を分たんしています。右の図は、さきさんの家の家事当番表です。中の円を、毎日1つずつ右回りに回して当番の仕事が決まります。

今日は2月1日で、当番表は次の図の「1日目」と同じになりました。



- (1) 2月11日の当番表は、上の1日目から6日目までの当番表のどれと同じになりますか。1つえらび、記号で答えましょう。

() 日目

- (2) さきさんは、2月中（この年の2月は28日まで）に**おふろそうじ**をする日を、すべてもとめました。

〔さきさんのもとめ方〕

私が最初におふろそうじをするのは、1日です。当番表は、6日でひと回りします。だから、私がおふろそうじをする日は、 $1 + 6 \times (\text{当番表がひと回りした回数})$ でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

$1 + 6 \times 0 = 1$ 、 $1 + 6 \times 1 = 7$ 、 $1 + 6 \times 2 = 13$ 、 $1 + 6 \times 3 = 19$ 、 $1 + 6 \times 4 = 25$ 、 $1 + 6 \times 5 = 31$ です。しかし、2月は、28日までだから、31にはなりません。

このことから、2月中に私がおふろそうじをするのは、1日、7日、13日、19日、25日です。

さきさんは、同じもとめ方で、2月中に**犬の散歩**をする日をすべてもとめることにしました。

〔もとめ方〕の には数を、 には式と言葉を、() には言葉をかきいれましょう。

〔もとめ方〕

最初に犬の散歩をするのは、 日です。当番表は、6日でひと回りします。

だから、犬の散歩をする日は、 $+ 6 \times (\text{当番表がひと回りした回数})$ でわかります。この式にあてはめて表すと、次のようになります。

このことから、2月中に犬の散歩をするのは、() 日です。